

# 第1学年 「社会」

## 1. 学習の目標

### [地理的分野]

- (1) 日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国土の地域的特色を考察し理解させ、地理的な見方や考え方の基礎を培い、わが国の国土に対する認識を養う。
- (2) 日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとの関わりでとらえ、それを地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連づけて考察し、地域的特色をとらえるための視点や方法を身に付けさせる。
- (3) 大小さまざまな地域から成り立っている日本や世界の諸地域を比較し関連付けて考察しそれらの地域は相互に関係し合っていることや各地域の特色には地方的特殊性と一般的共通性があることまた、それらは諸条件の変化などに伴って変容していることを理解させる。
- (4) 地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。

### [歴史的分野]

- (1) 歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れと各時代の特色を世界の歴史を背景に理解させ、それを通して我が国の文化と伝統の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。
- (2) 国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊敬する態度を育てる。
- (3) 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもち、国際協調の精神を養う。
- (4) 身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味や関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公平に判断するとともに適切に表現する態度を育てる。

## 2. 評価の観点・方法

- ① 社会的事象への関心・意欲・態度  
「社会的事象に関心をもち、よりよい社会のあり方を考える。」 →

授業参加態度、授業道具や提出物、発表・発言  
定期テスト、単元テスト、課題の提出など

- ② 社会的な思考・判断・表現  
「社会的事象から課題を見だし、考察し、公正に判断する。」 →

発表・発言、提出物の内容、課題の内容、  
定期テスト、単元テストなど

- ③ 社会的事象についての知識・技能  
「各種の資料を効果的に活用し、その成果を適切に表現する。」 →  
「社会的事象について理解し、知識を身に付けている。」

提出物・レポート・課題の内容やまとめ方、  
定期テスト、単元テスト、発表・発言など

## 3. 学習のポイント

- ・教科書などの基本用語（太文字）は、覚える。
- ・他の人の発言や発表はしっかり聞き、班での話し合いや発表に積極的に取り組む。
- ・ノートには、板書を写して書くだけでなく、要点が分かりやすいように工夫し、自分の気づきや調べたことも記入するようにしておく。
- ・提出物の期限は守る。
- ・調べる時は、できるだけ多く資料を集め、その中から必要な部分だけを利用する。
- ・調べたことをまとめ、レポートにする時には、テーマの設定・利用した資料・分かったこと・自分の考えを必ず入れる。また他の人が見て分かりやすいよう工夫する。
- ・教科書はよく読んで、書いてあることを理解する。
- ・教科書などで出てきた国名や地名は、必ず地図帳で確認する。
- ・教科書などで出てきた人名や文化財は、必ず資料集で確認する。
- ・新聞、テレビ、雑誌などの地理・歴史に関することがらに気をつけ、地理や歴史に関する興味や関心を高める努力をする。
- ・新聞やテレビなどのニュースに気をつけ、社会に関する関心や興味をもつように努力する。
- ・基本用語は、書きながら（漢字のものは、正しく漢字で書ける）覚える。

#### 4. 学習内容と学習のねらい

学期	学習内容	学習のねらい
1 学 期	○地理学習の初めに	○小学校社会科の学習の既得知識を整理する。
	○世界の姿  ○日本の姿  ○世界各地の人々の生活と環境	○世界を地理的に認識するための座標軸として、地球儀や世界地図を活用して、大陸と海洋の形状や分布を取り上げ、地球規模での位置関係を捉えるための知識と技能を身につける。  ○日本の国土の位置と領域の特色、変化を世界的な視野から多面的・多角的に考察し、日本の地域構成の基本的な枠組み（地域区分）を捉える活動に意欲的に取り組み、地図を活用する方法を身につける。  ○人々の生活と環境との関わりや、さまざまな条件の下で多様な生活を営んでいることを理解するとともに、異なる文化を尊重する態度を身につける。
2 学 期	○歴史学習の初めに	○小学校の学習との関連を図りながら、中学校の歴史学習の導入として、歴史に対する興味、関心、意欲を高める。
	○歴史の流れをとらえよう  ○古代までの日本・世界の古代文明と宗教のおこり ・日本列島の誕生と大陸との交流 ・古代国家の歩みと東アジア世界	○時代や年代の読み取り方を理解し、歴史を学習する際の基礎を身に着ける。  ○日本列島において人々の生活が始まり、やがて国家が形成されていった過程のあらましを、東アジアの動きと関連付けて理解する。 ○大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇・貴族の政治を展開した古代までの日本の流れを大きく捉える。 ○古代の日本において、国際的な要素を持った文化からやがて文化の国風化が進んでいくことを、代表的な事例を取り上げて理解するとともに、日本の文化財に関心を持つ。
3 学 期	○世界の諸地域  ・アジア州  ・ヨーロッパ州  ・アフリカ州  ・北アメリカ州  ・南アメリカ州  ・オセアニア州	○世界の諸地域の地域的特色を理解するために、それぞれの地理的事象に関する学習テーマを設定し、意欲的に追究する。 ○世界の諸地域の学習テーマを追究していく過程において、その地域的特色と課題を多面的・多角的に考察し、その成果をさまざまな手法で表現する。 ○世界の諸地域に関する統計資料の分析、気温図・主題図・写真の読み取りや比較・関連づけなどの地理的技能を育む。 ○世界の諸地域の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観し、地球儀や地図帳などを活用しながら、それぞれの基礎的・基本的な知識を身につける。 ○学習した地理的事象や日常生活、報道などによる話題などの地理的事象に興味・関心を持ち、設定した課題の解決に向けて問題解決的な調査活動や探究的な学習に意欲的に取り組む。 ○世界の人々はそれぞれの地域で、なぜそのような多様な生活を営んでいるのかを考え、世界の地理的認識を深める。
	○中世の日本 ・武士の台頭と鎌倉幕府 ・東アジア世界とのかかわりと社会の変動	○武家政権が誕生して、武士の支配が次第に全国に広まり武家社会が発展していったという大きな時代の流れを理解する。 ○モンゴルの襲来、日明貿易、琉球の国際的役割など、この時代に東アジア世界と密接な関わりが見られたことや、それが国内の政治に影響をおよぼしたことを理解する。 ○畿内を中心とした都市や農村に自治的な仕組みが生まれたというこの時代の大きな変化の原因を、農業をはじめとする諸産業の発達などの視点から考えさせる。 ○武士や民衆の活力を背景にして生み出された新しい文化の特色を、代表的な事例を取り上げて捉えさせ、その中で現在に結びつくものに関心を持たせる。